

第 3 5 回

宮 沢 賢 治 賞
イーハトーブ賞

選 考 宮沢賢治学会イーハトーブセンター

第35回宮沢賢治賞・イーハトーブ賞について

《宮沢賢治賞》

ブログサイト「賢治の事務所」を主宰し、賢治と天文学を初めとする自身のエッセイや論考を発表、併せて宮沢賢治に関連する多彩な情報を紹介して、現代的なメディアで約30年間にわたり発信し続けている業績に対して。

加倉井 厚夫 様

《宮沢賢治賞奨励賞》

天文学の専門的な見地から賢治作品を解説した天文学の入門書『天文学者が解説する 宮沢賢治『銀河鉄道の夜』と宇宙の旅』や放送大学のテキスト『宮沢賢治と宇宙』（共著）を執筆し、意欲的な研究を継続している功績に対して。

谷口 義明 様

《宮沢賢治賞奨励賞》

高校を舞台に、不登校となった「イーハトー部」の創立者が残した「本当の幸いは遠い」の意味を探る過程を賢治作品や関連する語を組み込みながら描き、賢治文学の主題である弱者へのやさしさを現代的に表した小説『銀河の図書室』に対して。

名取 佐和子 様

《イーハトーブ賞》

賢治の友人藤原嘉藤治が開拓した紫波町の山麓に園芸施設を開設し、嘉藤治をしのぶ音楽会やパネル展を開催したほか、資料集『賢治さんの人格・芸術を世界へ 藤原かとうじが残したもの』を刊行、賢治文学の普及・研究活動に貢献してきた業績に対して。

瀬川 正子 様

《イーハトーブ賞奨励賞》

該当者なし

選考経過および理由について

宮沢賢治学会イーハトーブセンター
賞選考委員長 信時 哲郎

選考対象は学会員の推薦によるものであり、選考会議は2回行った。

《宮沢賢治賞》

選考対象は11件。3件が第2次選考に残り、1件が本賞に、2件が奨励賞に選出された。

本賞の加倉井厚夫氏は、インターネット普及間もない1996年から現在に至るまでアクセス数100万件を越えるブログサイト「賢治の事務所」を主宰し、賢治関連の図書や新聞・雑誌の掲載記事、イベントの紹介や実際に作品の舞台に足を運んでのエッセイ等の膨大な量を掲載し、ことに天体と賢治に関する論考・エッセイについては第一線のレベルであり、論文等への引用件数も多い。

情報の早さや広さ深さ、また記述の正確さは数多くある賢治専門サイトの中でも突出しており、そのレベルの高さを30年にわたって保ち続けたことは宮沢賢治の研究と普及に大きな影響を残したと言え、宮沢賢治賞の本賞にふさわしい。

奨励賞の谷口義明氏は、銀河や巨大ブラックホールの誕生と進化の研究を専門にする天文学者で、東京大学東京天文台助手、東北大学理学部助教授、愛媛大学大学院教授等を経て2016（平成28）年に放送大学に異動したが、2018年に「銀河鉄道の夜」に出会い、「そうだ、天文学入門の講義を宮沢賢治の作品を紐解きながらやってみたら面白いのではないだろうか？」（『天文学者とめぐる宮沢賢治の宇宙』）とのひらめきから、まったく新しい天文学入門の講義を構想し、賢治を入口にした入門書を執筆。従来の天文学入門書とは違った試みとして文系理系を問わぬ多くの読者から好評を以て迎えられている。また、現在も独自の問題意識から、賢治の作品に関する疑問について研究を続けている。

今後ますますの研究の広がりや深まりが期待されることから宮沢賢治賞奨励賞がふさわしい。

同じく奨励賞の名取佐和子氏は、ゲーム会社でシナリオライターを務めるが、2015（平成27）年には小説『ペンギン鉄道なくしもの係』でエキナカ書店大賞を受賞するなど作品は高く評価され、2024（令和6）年には『銀河の図書室』を刊行している。宮沢賢治を研究する「イーハトー部」の創業者である風見先輩が不登校となった理由を、先輩の残した「本当の幸いは遠い」という言葉を追うことから探るもの。

多くの賢治作品を下敷きにし、全集や文庫本の紹介、宮沢賢治記念館の展示などについても物語に織り込みながら、賢治文学のもつ弱者への優しいまなざしを主題とした現代的な表現の創作であり、宮沢賢治賞奨励賞がふさわしい。

《イーハトーブ賞》

選考対象は 15 件。6 件が第 2 次選考に残り、1 件が本賞候補に選出された。奨励賞は該当者なしとなった。

本賞の瀬川正子氏は、賢治の友人であった花巻高等女学校の音楽教師・藤原嘉藤治の開拓した岩手県紫波町の東根山麓に園芸施設「ビューガーデン」を開設。一万四千坪のナチュラルパークとして、ハーブガーデンや植木売場、バラ園、オープンカフェ等を設置する傍ら、嘉藤治の息子の妻にあたる艶子さんとの縁から嘉藤治の実績を紹介するパネル展を 22 回、嘉藤治をしのぶ音楽会を 14 回開催し、さらに嘉藤治と宮沢清六とのやり取りをはじめとする資料集『賢治さんの人格・芸術を世界へ 藤原かとうじが残したもの』を刊行、賢治没後の作品発表や全集の編集過程などを示す新たな資料として受容史研究に資するところが大きい。

これら賢治文学の普及にまつわる多角的な活動は、イーハトーブ賞の本賞にふさわしい。

宮沢賢治学会イーハトーブセンター委員会構成

委員会等	氏 名	都道府県	備 考
参与	栗原 敦	東京	
代表理事	青木 美保	広島	
副代表理事(企画委員会)	中地 文	宮城	
副代表理事(賞選考委員会)	信時 哲郎	兵庫	
企画委員会(50音順)	阿部 紀子	岩手	
	岡田 浩行	岩手	
	柏葉 公平	岩手	
	北山 公路	岩手	
	田嶋 彩香	千葉	
	◎中地 文	宮城	
	中野 由貴	兵庫	
	向山 三樹	山梨	
賞選考委員会(50音順)	大塚 常樹	東京	
	佐々木勝也	岩手	
	高橋智恵子	岩手	
	◎信時 哲郎	兵庫	
	牧 千夏	奈良	
	村上 英一	千葉	
編集委員会(50音順)	遠藤 純	兵庫	
	構 大樹	徳島	
	鈴木 健司	埼玉	
	坪谷 卓浩	東京	
	◎富山 英俊	東京	
職で充てる理事(選任外)	生涯学習部長		すべての委員会に 出席できる理事
	宮沢賢治記念館長		
	宮沢賢治イーハトーブ館長 (学会代表理事)		
監事	平賀 陽一郎	岩手	
	嶋 勝正	岩手	

◎：委員長

宮沢賢治賞 加倉井 厚夫（かくらい あつお） 様

1961年生まれ 茨城県つくば市在住

【職歴】

1984年4月～ 1995年3月	東京学芸大学勤務
1995年4月～ 2022年3月	筑波大学勤務
2022年4月～ 現在	筑波大学専門員（シニアスタッフ）

【業績等】

・主な活動

プラネタリウム番組「銀河鉄道の夜」（KAGAYA Studio）宮沢賢治研究アドバイザー（2006年）
宮沢賢治学会イーハトーブセンター理事（2008年9月～2012年9月）
プラネタリウム番組「二人の銀河鉄道～賢治・嘉内の青春」（山梨県立科学館）監修者（2011年）
花巻市宮沢賢治記念館展示リニューアルアドバイザー（2014年6月～2015年4月）
宮沢賢治学会イーハトーブセンター理事（2016年9月～2020年9月）

・主な業績

（個人のウェブサイト）

「賢治の事務所」運営（1996年5月～現在）

（単行本共著）

渡部芳紀編『宮沢賢治大事典』（勉誠出版、2007年8月）

天沢退二郎・金子勉・鈴木貞美編集委員『宮澤賢治イーハトヴ学事典』（弘文堂、2010年12月）

中川素子・大島丈志編『絵本で読みとく宮沢賢治』（水声社、2013年11月）

『別冊太陽 日本のこころ 218 宮沢賢治 おれはひとりの修羅なのだ』（平凡社、2014年4月）

（宮沢賢治同人誌）

松田司郎編集『ワルトラワラ』『宮沢賢治のプラネタリウム』連載（第12号1999年11月～現在）



宮沢賢治賞奨励賞 谷口 義明（たにぐち よしあき） 様
1954年生まれ 宮城県仙台市在住

【学歴・職歴など】

1978年3月	東北大学理学部天文学科卒業
1984年3月	東北大学大学院理学研究科単位取得の上退学
1984年9月	理学博士（東北大学大学院）
1985年4月	日本学術振興会一般研究員
1987年4月	日本学術振興会特別研究員
1987年6月	東京大学東京天文台助手
1991年4月	東北大学大学院理学研究科助教授
2007年11月	愛媛大学宇宙進化研究センター教授（センター長）
2016年4月	放送大学教授（2022年より特任教授）

【業績】

1992年～
2008年 日本天文学会評議員

1994年～
2004年 日本学術会議天文学研究連絡会委員

日本天文学会天体発見賞（超新星 1988E の発見）

2001年 日経サイエンス 30 周年記念論文佳作入選

2005年 日本天文学会欧文研究報告論文賞

2010年 日本天文学会欧文研究報告論文賞

2025年3月 放送大学教育功績賞

著書：44 冊



宮沢賢治賞奨励賞 名取 佐和子（なとり さわこ） 様
1973年生まれ 神奈川県鎌倉市在住

【学歴・職歴など】

1995年3月	明治大学文学部文学科フランス文学専攻卒業
1995年4月	株式会社ナムコ（現・バンダイナムコエンターテインメント）入社
2001年8月	同社を退社
2010年8月	『交番の夜』（Linda BOOKS!）で作家デビュー
2015年2月	『ペンギン鉄道なくしもの係』（幻冬舎文庫）が第5回エキナカ書店大賞受賞
2025年4月	『銀河の図書室』（実業之日本社）が第71回「青少年読書感想文全国コンクール」課題図書に選出

【業績（主な著書）】

『金曜日の本屋さん』 （2016年刊 ハルキ文庫／角川春樹事務所）
『江の島ねこもり食堂』 （2018年刊 ポプラ文庫）
『図書室のはこぶね』 （2022年刊 実業之日本社）
『文庫旅館で待つ本は』 （2023年刊 筑摩書房）



撮影／国府田利光

※写真使用の際はクレジットを表記ください

イーハトーブ賞 瀬川 正子（せがわ まさこ） 様

1945年生まれ 岩手県紫波町在住

【学歴・職歴など】

1945年1月	旧満州ハルビン市生まれ。翌年9月両親・姉と共に岩手県平泉へ引揚げ。
1963年3月	岩手県立一関第一高等学校卒業。
1964年4月	平泉町役場勤務
1968年3月	結婚のため退職、紫波町へ。
1976年4月	家族と共に共同園芸創業
1983年2月	法人化し現在は株式会社共同園芸取締役
1999年6月	アンテナショップの場所探しで藤原嘉藤治開拓の場所と出会う
2000年4月	アンテナショップビューガーデンをオープン。その後嘉藤治資料の調査に入る。

【主な活動等】

- 2002年～ 「藤原嘉藤治パネル展」を開催 計22回
任意団体「賢治・嘉藤治こだまの会」を10年運営。
- 2013年 NPO法人ポラーノの広場設立。嘉藤治顕彰活動を引き継ぐ。
- 2013年4月 「城山に宮沢賢治文学碑を建てる会」記念誌編集。
- 2013年12月 ビューガーデンに嘉藤治詩碑「或る日の宮沢賢治」を建立
- 2024年12月 十字屋版宮澤賢治全集全7巻完成80年に合わせて「藤原嘉藤治資料集」を出版

